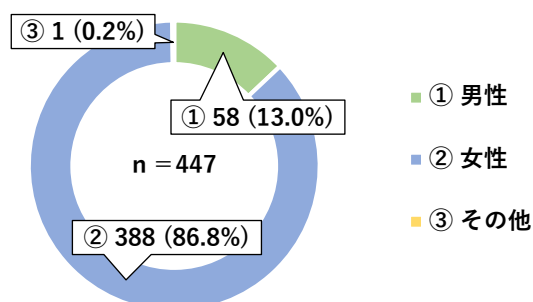


## A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

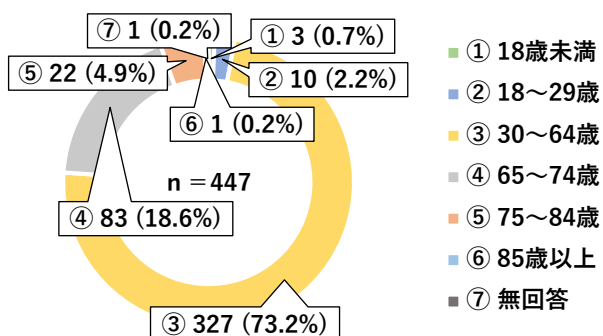
### 問1(1) ケアラーの性別

\* ケアラーの性別は、「② 女性」が86.8%となっており、「① 男性」の13.0%を大きく上回っています。



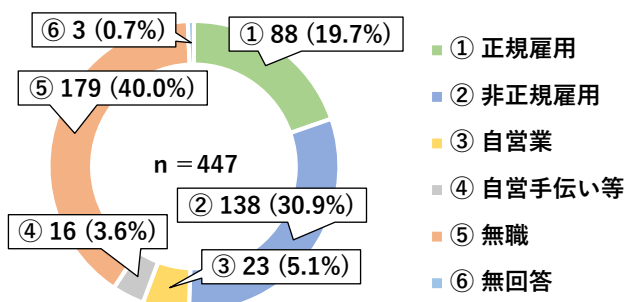
### 問1(2) ケアラーの年齢

\* ケアラーの年齢は、「③ 30～64歳」が73.2%で最も多く、65歳以上の高齢者が占める割合は合わせて23.7%となっています。



### 問1(3) ケアラーの就労状況

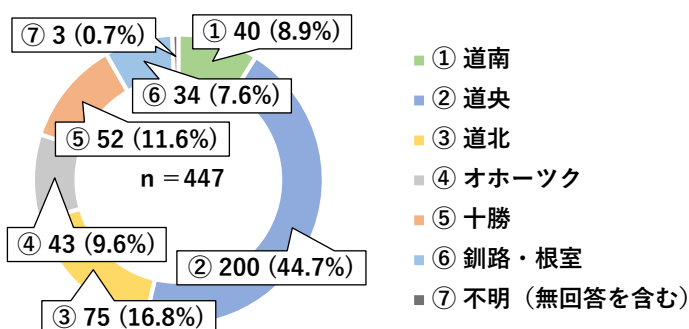
\* ケアラーの就労状況は、「⑤ 無職」が40.0%で最も多く、「① 正規雇用」は19.7%となっています。



A - ② 障がい者を介護や援助しているケアラー

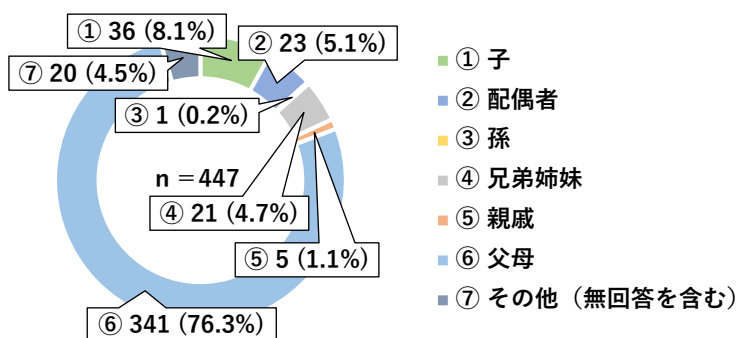
問1(4) ケアラーの居住地

\* ケアラーの居住地は、「② 道央」が44.7%で最も多く、次いで「③ 道北」が16.8%となっています。



問2(5) 要ケア者の続柄

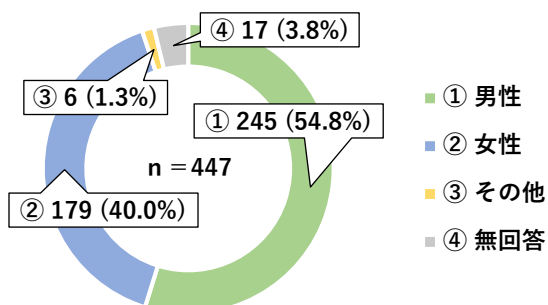
\* 要ケア者\*の続柄は、「⑥ 父母」が76.3%で最も多く、次いで「① 子」が8.1%となっています。



※ 介護や援助を必要とする方

問2(6) 要ケア者の性別

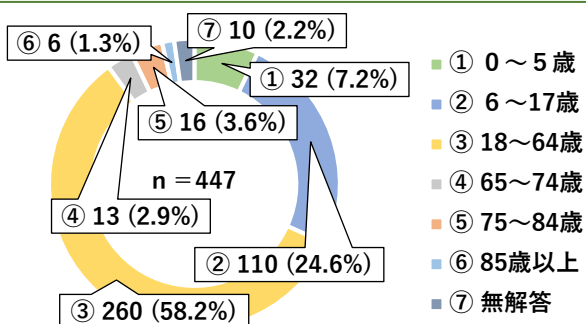
\* 要ケア者の性別は、「① 男性」が54.8%となっており、「② 女性」の40.0%と比較的近い割合になっています。



A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問2(7) 要ケア者の年齢

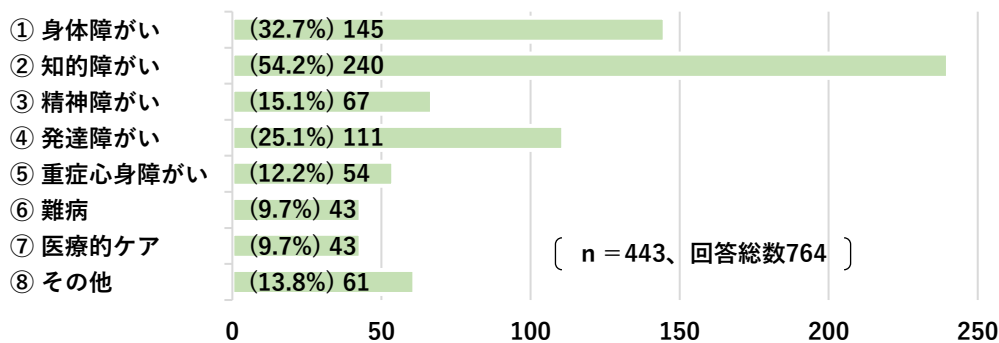
\* 要ケア者の年齢は、「③ 18～64歳」が58.2%で最も多く、次いで「② 6～17歳」が24.6%となっています。



問2(8) ケアが必要な理由

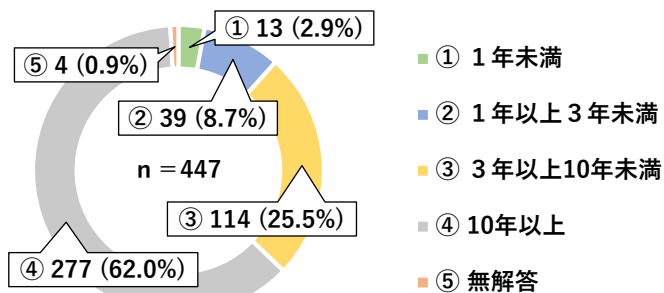
複数回答

\* ケアが必要な理由は、「② 知的障がい」が54.2%で最も多く、次いで「① 身体障がい」が32.7%となっています。



問2(9) ケアの継続期間

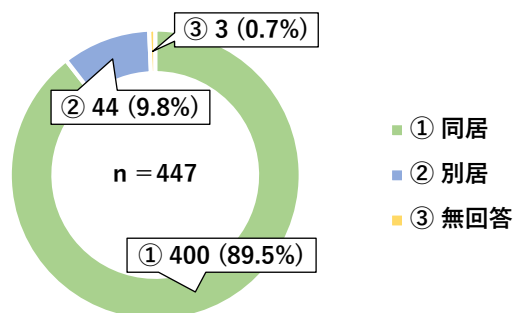
\* ケアの継続期間は、「④ 10年以上」が62.0%で最も多く、次いで「③ 3年以上10年未満」が25.5%となっています。



A - ② 障がい者を介護や援助しているケアラー

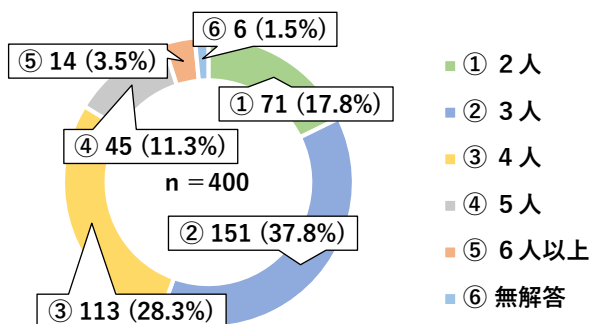
問3(10) 要ケア者との居住形態

\* 要ケア者との居住形態は、「① 同居」が89.5%となっており、「② 別居」の9.8%を大きく上回っています。



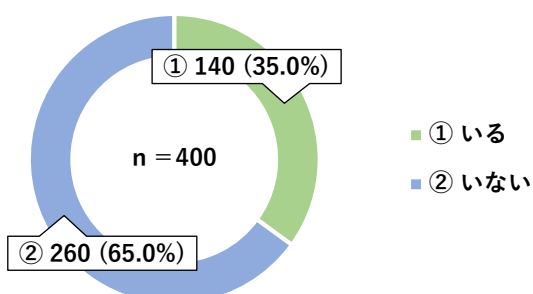
問3(11) ケアラーの世帯人員（要ケア者と同居している場合）

\* 要ケア者と同居しているケアラーの世帯人員は、「② 3人」が37.8%で最も多く、次いで「③ 4人」が28.3%となっています。



問3(12) 別の要ケア者の存否（要ケア者と同居している場合）

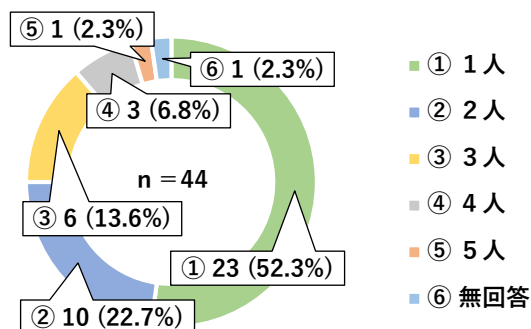
\* 別の要ケア者の存否は、「② いない」が65.0%となっており、「① いる」の35.0%を大きく上回っています。



A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

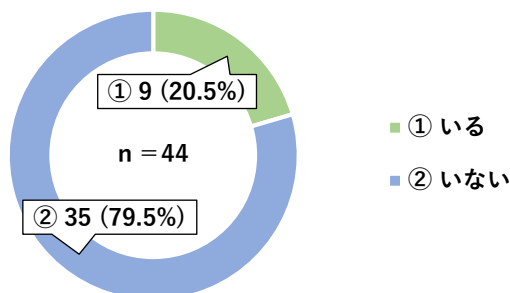
問3(13) ケアラーの世帯人員（要ケア者と別居している場合）

\* 要ケア者と別居しているケアラーの世帯人員は、「① 1人」が52.3%で最も多く、次いで「② 2人」が22.7%となっています。



問3(14) 別の要ケア者の存否（要ケア者と別居している場合）

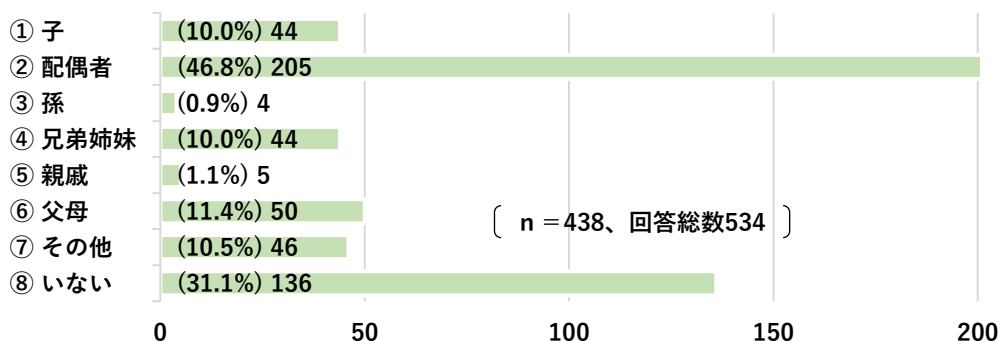
\* 別の要ケア者の存否は、「② いない」が79.5%となっており、「① いる」の20.5%を大きく上回っています。



問3(15) 日常的なケアの分担者

複数回答

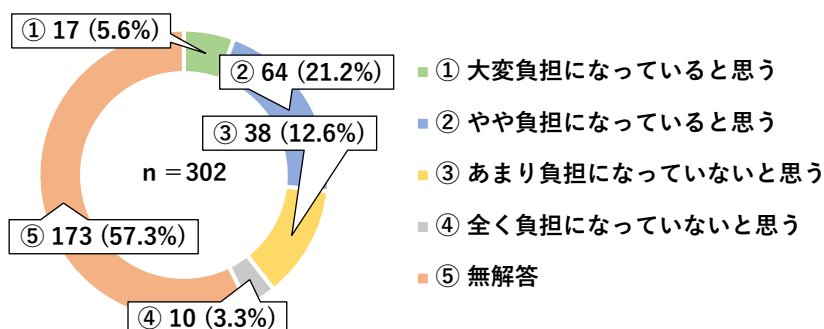
\* 日常的なケアの分担者は、「⑧ いない」が31.1%で約3割を占めており、いる場合の続柄は、「② 配偶者」が46.8%で最も多くなっています。



A - ② 障がい者を介護や援助しているケアラー

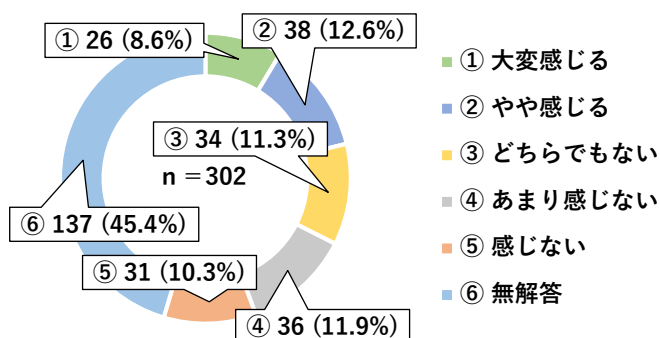
問3(16) ケアの分担者の負担感

\* ケアの分担者の負担感は、無回答を除くと、「② やや負担になっていると思う」が21.2%で最も多くなっています。



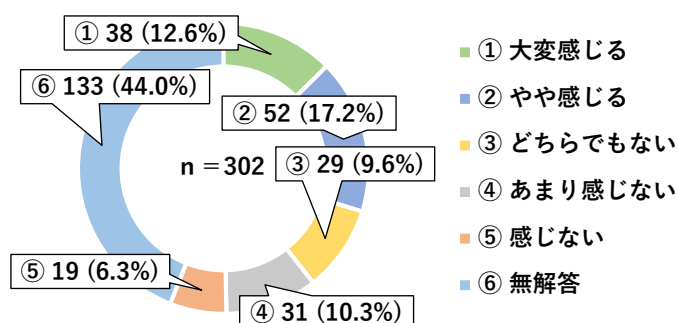
問3(17) 分担者の負担軽減に対する思い（方法 a：ケアラーの負担を増やす）

\* ケアラー自身の負担を増やすことで分担者の負担を軽減したいとする思いは、無回答を除くと、「② やや感じる」が12.6%で最も多くなっています。



問3(17) 分担者の負担軽減に対する思い（方法 b：他の家族にも関わってもらおう）

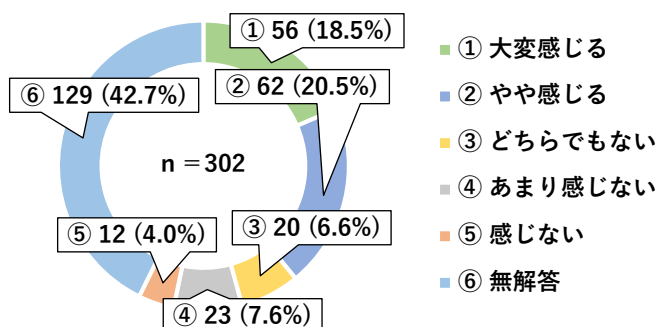
\* 他の家族にも関わってもらおうことで分担者の負担を軽減したいとする思いは、無回答を除くと、「② やや感じる」が17.2%で最も多くなっています。



A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問3(17) 分担者の負担軽減に対する思い（方法c：公的支援やサービスを利用）

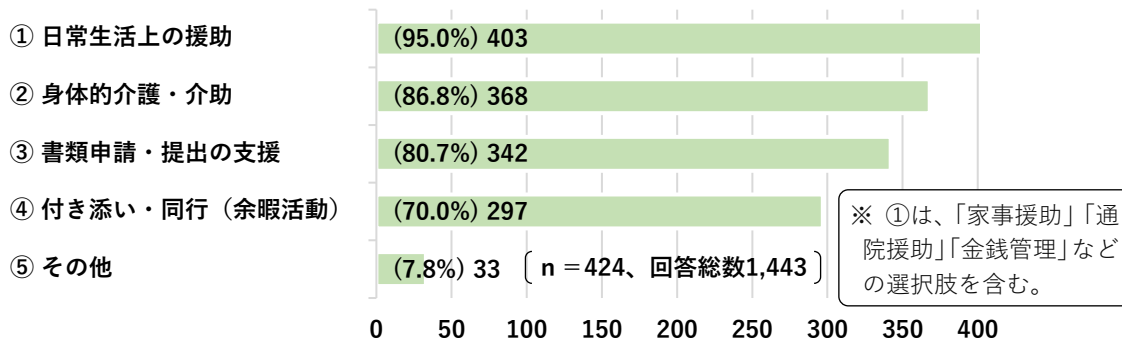
\* 公的支援やサービスを利用することで分担者の負担を軽減したいとする思いは、無回答を除くと、「② やや感じる」が20.5%で最も多くなっています。



問4(18) ケアの内容

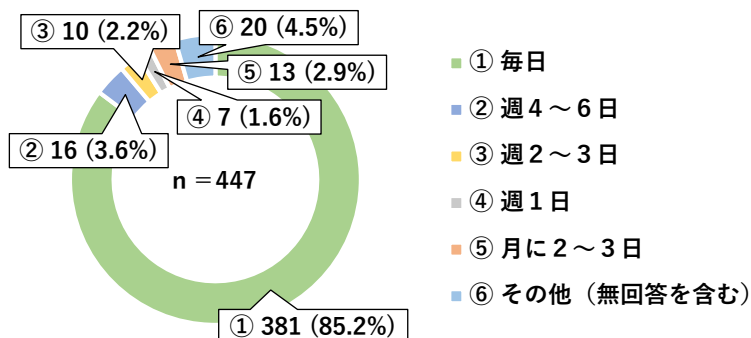
複数回答

\* ケアの内容は、「① 日常生活上の援助」が95.0%で最も多く、次いで「② 身体的介護・介助」が86.8%となっています。



問4(19) ケアの頻度

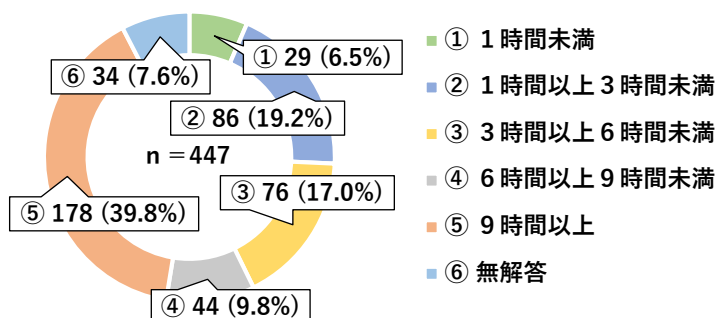
\* ケアの頻度は、「① 毎日」が85.2%で最も多く、その他を除くと、次いで「② 週4～6回」が3.6%となっています。



A - ② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問4 (20) ケアの最長時間

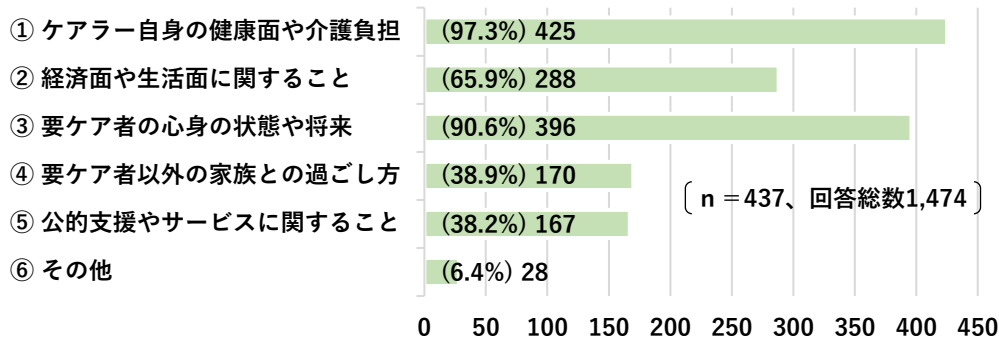
\* ケアの最長時間は、「⑤ 9時間以上」が39.8%で最も多く、次いで「② 1時間以上3時間未満」が19.2%となっています。



問4 (21) ケアに関する悩み

複数回答

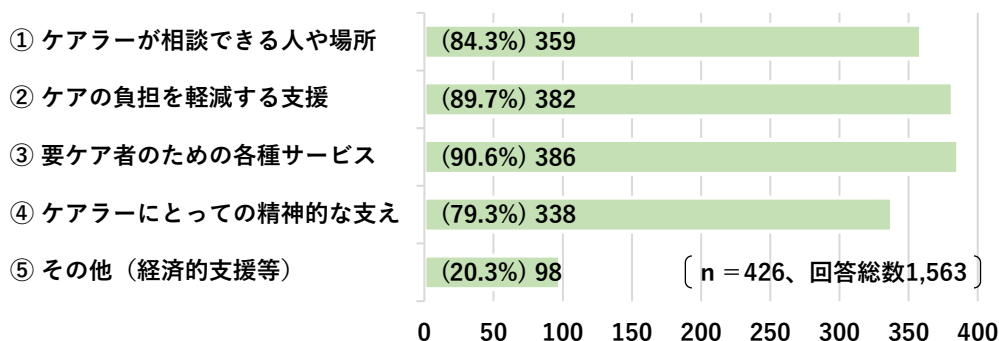
\* ケアに関する悩みは、「① ケアラー自身の健康面や介護負担」が97.3%で最も多く、次いで「③ 要ケア者の心身の状態や将来」が90.6%となっています。



問4 (22) ケアラーが求めている支援

複数回答

\* ケアラーが求めている支援は、「③ 要ケア者のための各種サービス」が90.6%で最も多く、次いで「② ケアの負担を軽減する支援」が89.7%となっています。



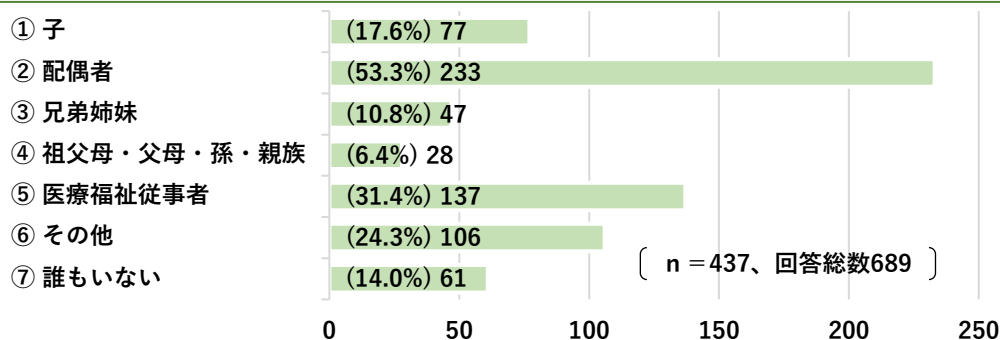


A - ② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問4 (23) ケアの代替者の有無

複数回答

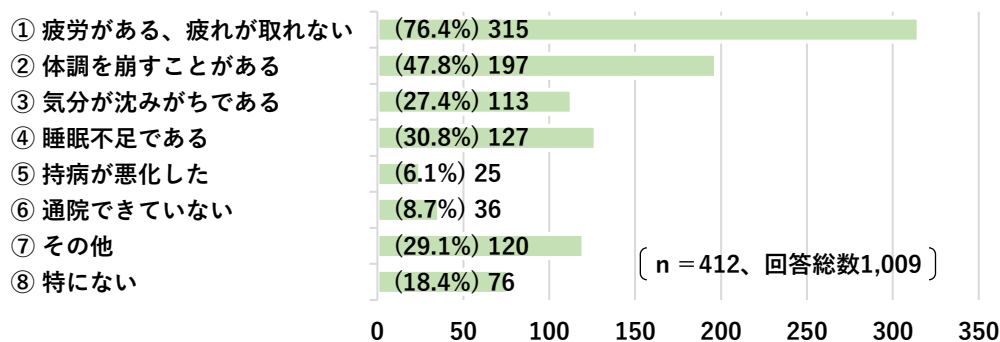
\* 緊急時等におけるケアの代替者の有無は、「② 配偶者」が53.3%で最も多い一方、「⑦ 誰もいない」との回答も1割を超えています。



問5 (24) ケアをすることによる健康状態への影響

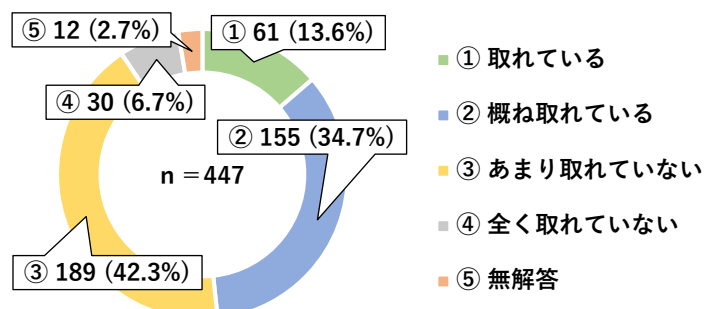
複数回答

\* ケアをすることによる健康状態への影響は、「① 疲労がある、疲れが取れない」が76.4%で最も多く、次いで「② 体調を崩すことがある」が47.8%となっています。



問5 (25) 趣味や休息等のための時間確保

\* 趣味や休息等のための時間確保は、「③ あまり取れていない」が42.3%で最も多く、次いで「② 概ね取れている」が34.7%となっています。

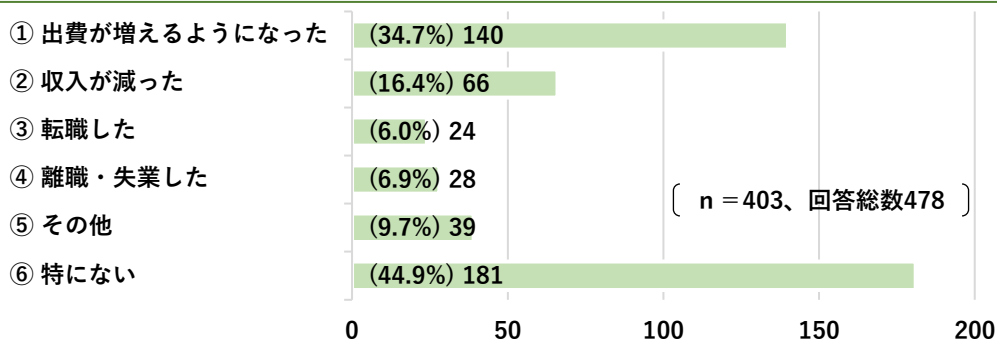


A - ② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問5(26) ケアをすることによる生活面への影響

複数回答

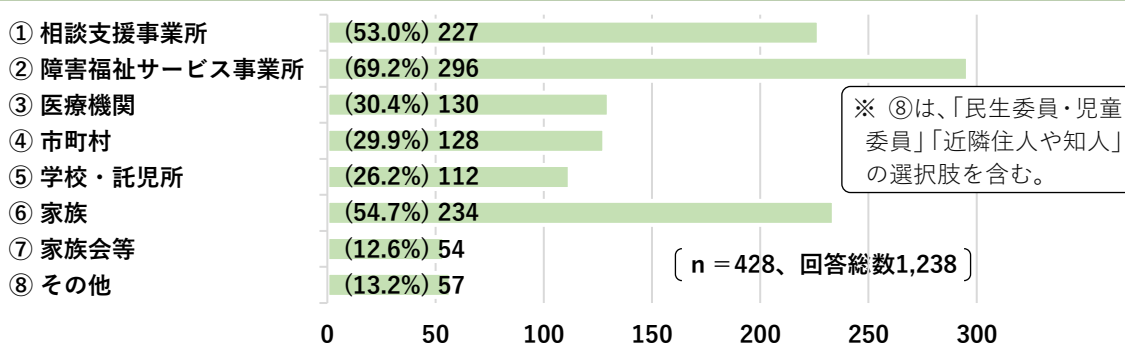
\* ケアをすることによる生活面への影響は、「⑥ 特にない」が44.9%で最も多く、次いで「① 出費が増えるようになった」が34.7%となっています。



問5(27) 頼りにしている相談先

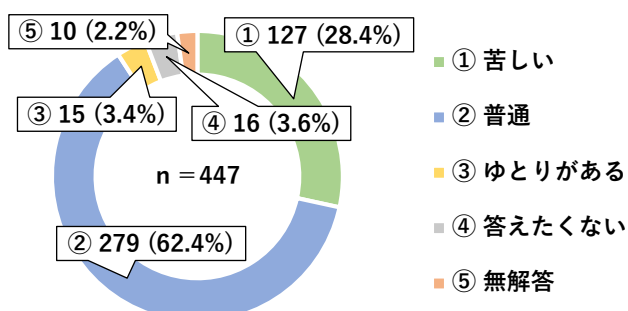
複数回答

\* 頼りにしている相談先は、「障害福祉サービス事業所」が69.2%で最も多く、次いで「⑥ 家族」が54.7%となっています。



問5(28) 現在の暮らし向き（生活や家計の状況）

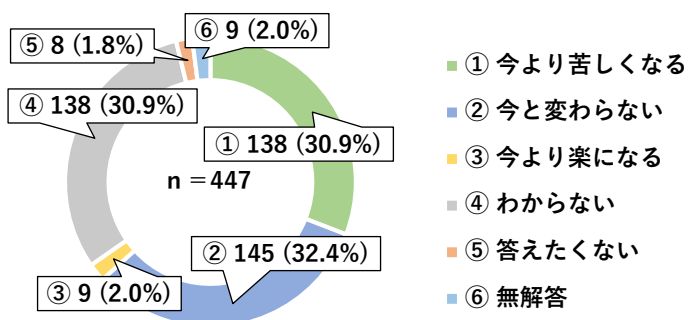
\* 現在の暮らし向きは、「② 普通」が62.4%で最も多く、次いで「① 苦しい」が28.4%となっています。



A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

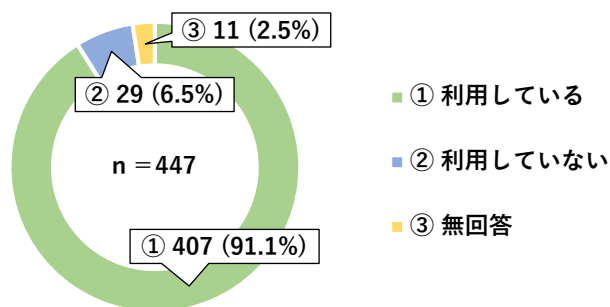
問5(29) 今後の暮らし向きの見通し

\* 今後の暮らし向きの見通しは、「② 今と変わらない」が32.4%で最も多く、次いで「① 今より苦しくなる」「④ わからない」が30.9%となっています。



問6(30) 要ケア者のサービス利用状況

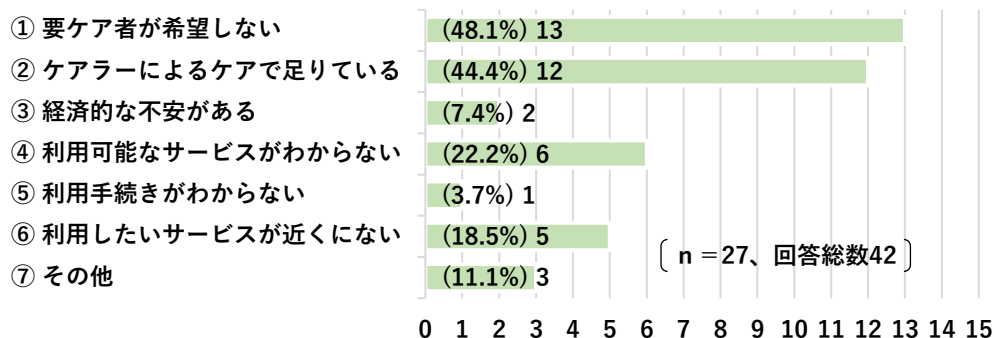
\* 要ケア者のサービス利用状況は、「① 利用している」が91.1%で最も多く、「② 利用していない」との回答は1割未満となっています。



問6(31) サービスを利用していない理由

複数回答

\* サービスを利用していない理由は、「① 要ケア者が希望しない」が48.1%で最も多く、次いで「② ケアラーによるケアで足りている」が44.4%となっています。

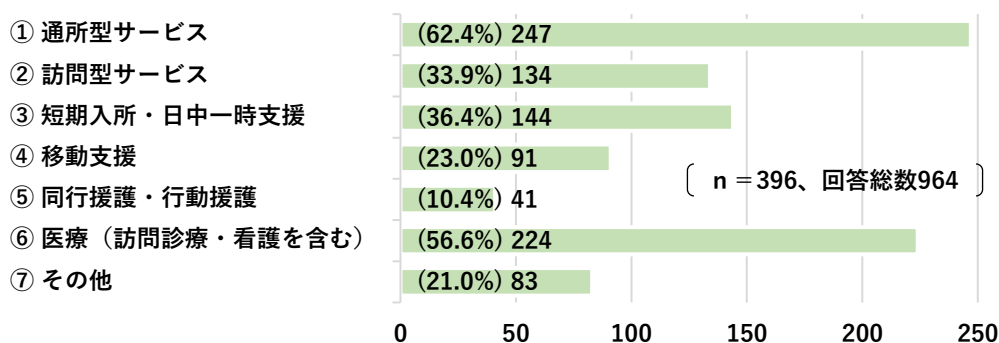


A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問6(32) 利用しているサービスの種別

複数回答

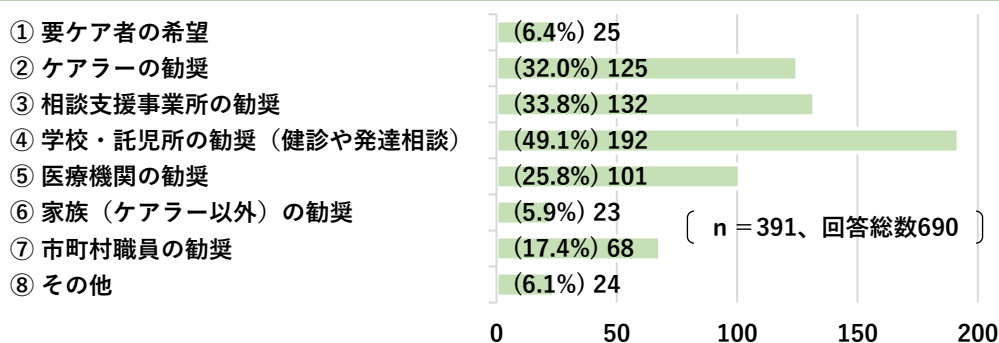
\* 利用しているサービスの種別は、「① 通所型サービス」が62.4%で最も多く、次いで「⑥ 医療（訪問診療・看護を含む）」が56.6%となっています。



問6(33) サービス利用の契機

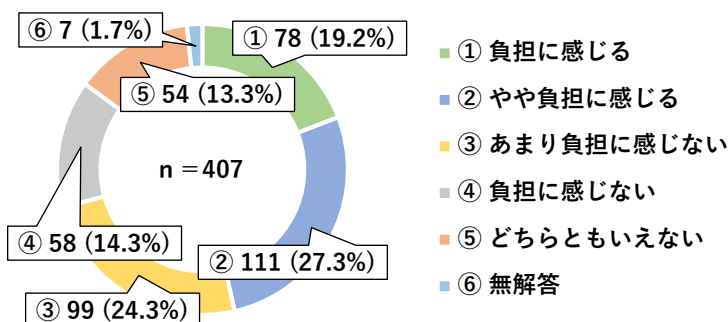
複数回答

\* サービス利用の契機は、「④ 学校・託児所の勧奨（健診や発達相談）」が49.1%で最も多く、次いで「③ 相談支援事業所の勧奨」が33.8%となっています。



問6(34) 利用料の負担感

\* サービス利用料の負担感は、「② やや負担を感じる」が27.3%で最も多く、次いで「③ あまり負担に感じない」が24.3%となっています。

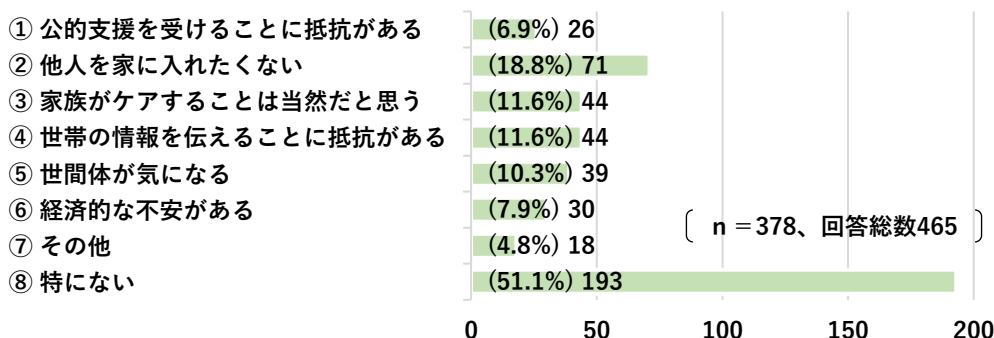


A-② 障がい者を介護や援助しているケアラー

問6(35) サービス利用に関する抵抗感

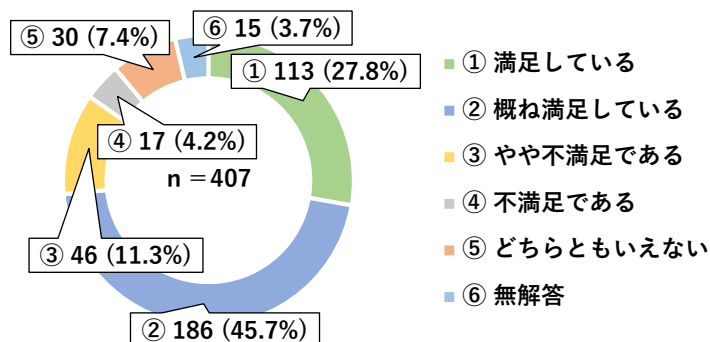
複数回答

\* サービス利用に関する抵抗感は、「⑧ 特にない」が51.1%で最も多く、次いで「② 他人を家に入れてたくない」が18.8%となっています。



問6(36) 利用しているサービスの満足感

\* 利用しているサービスの満足感は、「② 概ね満足している」が45.7%で最も多く、次いで「① 満足している」が27.8%となっています。



問6(37) サービス利用に必要な配慮

複数回答

\* サービス利用に必要な配慮は、「① サービス種類の拡大」が50.3%で最も多く、次いで「② 利用手続きの簡素化」が37.3%となっています。

